

晴れた日は公園で



雨宮圭

わざと厳しい環境に
身を置く事も
努力も惜しまない

自分で生きる
世界を変えてきた

手厳しいなあ…

ちょっと賞賛つたり
しただけで勘違いする
ヤツ多いよな
この業界

篠原…独立する
らしいぜ

えっ？

はは、ナコシ…

変化を望んだはずだったのに…・・・変えた世界をまた変える事は恐怖だった…。

公園に行く事は

一人になり自分を

振り返る時間だった

繰り返して來た

習慣…

全てを背負つても
自信とプライドを
無くさないために

人を雇う事の責
任とプレッシャ
！…

我武者らにやつて
きた5年間…
未来に対する期待
と不安



本書の無断転載・複製等は、著作権法禁止されております。